

一般質問

△高橋議員▽
 施政方針で、地場産業の振興をうたっているが、この春より滝上産の小麦粉が無くなり、イベントや、フレグランスハウス等で提供し



問 小麦粉の在庫切れの原因は 答 関係機関との連携を怠った

ている小麦粉を加工した食品が、滝上産小麦粉使用ではなく、道産小麦粉使用に変わってしまった。
 なぜそのようなことになったのか。町はどのような対応を取ってきたのか。

△長屋町長▽

まず、春先に小麦粉の在庫が切れる見通しであったが、滝上町畑作振興会及び農協、実需者との連絡調整を図っていたにもかかわらず、おわびを申し上げます。
 本年度はコロナ禍にあり、本町でも政策の推進は、手探りで取り進めている。
 滝上産小麦粉については、イベントや、人の往来の自粛等で需要の見通しが立たない状況の中、小麦製粉作業の依頼を見送っていた為、春から一時的に滝上産

小麦粉が流通されない事態になった。
 その際、対応策を考えると、現在まで至っており、春の段階で連携が取れていれば、滝上産小麦粉が使用できない事態を回避することができたと思う。

△高橋議員▽

町として滝上産にこだわるのが重要である。農協、実需者と連絡調整を図り、地場商品としての、滝上産小麦粉振興に努めたい。
 又一般家庭等への流通の促進、使用を図るPR活動も進めていきたい。

ントになる。もっと売り込みをかける方策を検討すべきではないか。
 ③町内の一般家庭利用の、取り組み方法を今後検討する必要があると考えるが。

△長屋町長▽

①行政が中間に立つて連携調整を図り、町のリーダーシップを十分に発揮するよう努めていきたい。
 ②ハツカや七面鳥の燻製等で随分知名度が上がっているが、小麦は道内で非常に多く作付・栽培されており、ブランド化までではない。

①振興は民間任せではなく行政がリーダーシップを発揮していくべきだと思いが。
 ②全国的に滝上産、オホーツク滝上産というのはPR材料だ。滝上の知名度があるところであれば、大きなポイ

ホテルとも話をしていて、滝上産の小麦を使ってレストランのメニュー、食材の中に特性を生かしてPRをしたい。これは料理長も希望している。
 ③滝上産小麦粉の特性はどちらかと言えば麵

用小麦であり、畑作振興会でも毎年収穫感謝祭で、小麦粉を使ったうどんを作ったりしている。
 私も小麦粉を買って家でうどんを作ってみましたが結構、美味しくできた。このようなことも、家庭内での利用方法の一つとしてPRをしていきたい。

一般質問

**問 中学校生徒の町への
提言対応は**

答 施策に取り入れたい

△高橋議員▽
 滝上中学校の3年生が、学校祭で総合学習時間の活動として、「町の特産品を利用した新しいお祭りの創設」や「芝さくらをイメージした食品開発等」、豊かな発想で具体性のある大変素晴らしい町への4つの提言を行った。

10月末には役場においてプレゼンテーションが行われたが、それを受けた大人の的確な対応が問われる。

①町長は、この貴重な提言をどのように受け止めたのか。

②この提言を受け何を、どのようなプロセスで対応するつもりであるのか。

△長屋町長▽
 ①生徒たちの発想や企画を学校祭でプレゼンテーションをしたことは、学習の効果が得られ非常によい機会であった。当日の出席者からもよい評価が得られていた。

さらには、10月の23日に役場内で発表報告会を行い、社会教育委員、教育委員会職員を前に、それぞれのグループから発表をした。学校祭を終えてから、さらに踏み込んだ内容

になっていった。個々の生徒のプレゼン能力を高め、養うための教育の成果はあったと強く感じている。

②提言というよりは発想や企画発表の機会と捉えているが、今回の提言は祭りの在り方、町の特産品開発等に繋がる有意義な企画・発想であり、担当や関係者とも情報を共有し施策に取り入れたい。

△高橋議員▽
 学習の一環ではあるが、町に対する強い思いを持って取り組んでいただいた。それに対し、返してあげることが大事だ。投げかけたが、放っておかれたという状態では、学習にならない。

町で検討できることは町で、民間団体等が

検討できることは投げかけて取り組めないか。子どもたちの希望によるが、そういう話し合いの場に一緒に参加する場を作る等、さらに推し進めていく事が重要と考えるが。

△長屋町長▽
 今回の4つの企画では、子どもたちは原価計算や販売価格までを徹底して取り組んだ。今後は実際に、体験できるようにすれば、もっと実りあるものになる。

企画だけで終わらせたくないと考えている。地域おこし協力隊等の協力も頂きながら、子どもたちの思いに応えられる取組みを進めていきたい。

※4つの提言
 広報たきのうえ1月号の14Pを参照してください。